

## 資料⑭

令和6年度東京都中体連柔道競技部  
令和6年4月6日総会資料

### 令和6年度東京都中体連柔道競技部大会組み合わせ実施規程

#### 総合体育大会（東京都中学校体重量別柔道選手権大会）[男子個人]

##### 1-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を強化選手に推薦する。

##### 1-2 参加数

各階級50名 + 島嶼地区

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
6	6	4	8	6	10	10		50

##### 1-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	7名
第2	ブロック大会第2位	7名
第3	ブロック大会第3位	14名

\*前年度の新人体重量別選手権大会の結果を考慮する

##### 1-4 組み合わせの方法

- (1) 前年度の結果を考慮した上で全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
  - (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2名は抽選。  
『a1～g1，a2～g2，a3～g3，a4～g4』が決定。
  - (3) 各ブロックの残った選手の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。  
第6ブロック・多摩ブロック 残り6名  
第4ブロック 残り4名  
第1ブロック・第2ブロック・第5ブロック 残り2名
- ☆この際、各ブロックの参加者をヤマに均等に振り分ける。  
☆同一ブロックの選手どうしは、原則2回戦までは対戦しない。（出場人数による）  
☆第1・2シード不在の階級があるブロックは、他のブロックの成績上位者の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

##### 1-5 順位決定戦

準決勝の敗者2名による『関東大会第3代表決定戦』を行う。

##### 1-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。  
（ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある）

## 総合体育大会（東京都中学校体重別女子柔道選手権大会）〔女子個人〕

### 2-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を新人大会・次年度総体女子体重別選手権のシード選手とする。
- (3) 各階級上位8名（1，2年のみ）を原則として強化選手に推薦する。

### 2-2 参加数

オープン参加

### 2-3 シード基準

※下記の大会を参考とする。

☆前年度総合体育大会

☆前年度東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

☆前年度東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会

☆同一選手が2階級でシード権を有する場合、今回出場する階級でシードとする。

### 2-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第5シードまでを順番に所定の位置に配置する。複数名のシード内では抽選を行う。  
☆シード選手どうしのブロックの配置は考慮しないが、シード選手どうしが同一チームの場合は考慮する。
- (2) 各ブロックの残った選手の抽選。  
☆この際、各ブロックの参加者(シード選手も含めて)をヤマに均等に振り分ける。  
☆同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

### 2-5 順位決定戦

- ①必ず勝敗を決する。(引き分けなし)
- ②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
- ③上記②で同等の場合は「一本」勝ち（GS一本勝ち含む）の多い選手を上位とする。  
※女子決勝リーグにおいて、GSにおける「抑え込み」については、「20秒（一本）まで継続すること」とする。
- ④上記③で同等の場合は「技あり」による優勢勝ち（GS技あり優勢勝ちも含む）の多い選手を上位とする。
- ⑤上記④で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
- ⑥上記④で同等の選手が3名の場合、再度3名による順位決定トーナメントを行い決定する。その際の組み合わせは抽選で行う。

### 2-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

（ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある）

## 総合体育大会（東京都中学校対抗柔道大会）[男子団体]

### 3-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表チームの選出

### 3-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けませんが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。

### 3-3 シード基準

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝チーム
第2	前年度新人大会準優勝チーム
第3	前年度新人大会第3位チーム
第4	前年度新人大会第4位チーム
第5	前年度新人大会第5位チーム（且つブロック順位付け予選1位・2位）
第6	前年度新人大会第7位チーム（且つブロック順位付け予選1位・2位）
第7	各ブロック順位付け予選1位（新人大会入賞せず）
第8	各ブロック順位付け予選2位（新人大会入賞せず）
第9	各ブロック順位付け予選3位

☆推薦チームが不参加の場合は、同一ブロックで代替チームを推薦する。空位となった箇所は、推薦チームの中で、下位シードからつめていき、代替チームは最下位シードの扱いとなる。

☆第1～第4シードは、推薦とし、ブロック予選免除とする。

☆ブロック予選において、第5・第6シードが同一ブロックの場合、ブロック予選の結果をもって、シードの上位とする。

### 3-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第6シードまでを所定の位置に入れる。複数チームのシード内では抽選を行う。第1シードから第6シードが決定。
- (2) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。\*シードにより一部決定済み
- (3) 第7シードを所定の位置に入れる。
- (4) 各ブロックの残ったチームの抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。  
☆この際、各ブロックの参加チーム（シードチームも含めて）をヤマに均等に振り分ける。  
☆同一ブロックのチームどうしは、2回戦までは対戦しない。（出場チーム数による）  
☆シードチームにおける同一ブロックのチームのヤマの偏りは考慮しない。

### 3-5 順位決定戦

ベスト16のチームを対象に、ダブルレペチャー方式の順位決定戦を行う。

また、第3位の2チームによる『関東大会代表順位決定戦』を行う。

但し、本戦トーナメントで対戦済みの場合は再戦を行わず、本戦トーナメントでの勝者を第3代表とする。

### 3-6 表彰

順位決定戦の結果通り。

優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（2チーム）第7位（2チーム）の8チームを表彰する。

## 総合体育大会（東京都中学校対抗女子柔道大会）〔女子団体〕

### 4-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表チームの選出

### 4-2 参加数

オープン参加とする

### 4-3 シード基準

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝チーム（1チーム）
第2	前年度新人大会準優勝チーム（1チーム）
第3	前年度新人大会第3位チーム（2チーム）
第4	前年度新人大会第5位チーム（2チーム）
第5	前年度新人大会第7位チーム（2チーム）

### 4-4 組合せの方法

- (1) シード基準に該当した上位8チームを振り分ける。但し、点数化したものが同列のチームは抽選とする。
- (2) 各ブロックの残ったチームの抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。  
☆この際、各ブロックの参加チーム（シードチームも含めて）をヤマに均等に振り分ける。  
☆同一ブロックのチームどうしは、原則として1回戦で対戦しない。  
（参加チーム数による）

### 4-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、シングルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。  
勝ち上がった2チームによる「関東大会第3代表決定戦」を行う。

### 4-6 表彰

順位決定戦の結果通り。  
優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（4チーム）の8チームを表彰する。

## 東京都中学校新人柔道大会 [男子団体戦]

### 5-1 大会の位置づけ

上位4チームを次年度の対抗大会推薦チームとする。

### 5-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けませんが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。

### 5-3 シード基準

シード順	対象チーム	チーム数
第1	ブロック大会第1位チーム	7チーム
第2	ブロック大会第2位チーム	7チーム
第3	ブロック大会第3位チーム(2チーム)	14チーム

☆第1～3シードまで不在のチームがあるブロックは、他のブロックの成績上位者の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

### 5-4 組合せの方法

- (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
- (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2チームは抽選。  
『a1～g1, a2～g2, a3～g3, a4～g4』が決定。
- (3) 各ブロックの残ったチームの抽選。

第6ブロック・多摩ブロック 残り6チーム

第4ブロック 残り4チーム

第1ブロック・第5ブロック 残り3チーム

☆この際、各ブロックの参加チーム(推薦チーム・シードチームも含めて)をヤマに均等に振り分ける。

☆原則、同一ブロックのチーム同士は、2回戦までは対戦しない。

### 5-5 順位決定戦

ベスト16のチームを対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。

但し、本戦トーナメントで対戦済みの場合は再戦を行わず、本戦トーナメントでの勝者を勝ち上がりとする。

### 5-6 表彰

順位決定戦の結果通り。

優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位(2チーム)第7位(2チーム)の8チームを表彰する。

## 東京都中学校新人女子柔道大会 [女子団体戦]

### 6-1 大会の位置づけ

上位8チームを次年度総体（団体戦）のシードチームとする。

### 6-2 参加数

オープン参加

### 6-3 シード基準

当該大会にエントリーした選手（中学1・2年生）の今年度の総合体育大会女子団体戦・個人戦を参考にする。

### 6-4 組合せの方法

（1）全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。

（2）第1シードから第2シードまでを所定の位置に入れる。

第3シードの2チームは抽選。

（3）各ブロックの残ったチームの抽選。

\*この際、各ブロックの参加チーム(推薦チーム・シードチームも含めて)をヤマに均等に振り分ける。

\*第1シードチームが7チームに満たない場合、第2シードのチームの中から、競技委員会が推薦するチームを第1シードに繰り上げるものとする。

### 6-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。

3位決定戦は実施しない。勝ち上がった2チームを3位とする。

### 6-6 表彰

順位決定戦の結果通り。

優勝・準優勝・第3位（2チーム）・第5位（4チーム）の8チームを表彰する。

## 東京都中学校新人体重別選手権大会 [男子個人]

### 7-1 大会の位置づけ

- (1) 各階級上位の結果を次年度総体体重別選手権・次年度新人大会において考慮する。
- (2) 各階級上位4名を原則として強化選手に推薦する。

### 7-2 参加数

各階級50名

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
6	6	4	8	6	10	10		50

### 7-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	7名
第2	ブロック大会第2位	7名
第3	ブロック大会第3位	14名

\*当該年度の総合体育大会の結果を考慮する

### 7-4 組み合わせの方法

- (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
- (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2名は抽選。

{a1～g1, a2～g2, a3～g3, a4～g4} が決定。

- (3) 各ブロックの残った選手の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。

第6ブロック・多摩ブロック 残り6名

第4ブロック 残り4名

第1ブロック・第2ブロック・第5ブロック 残り2名

\*この際、各ブロックの参加者をヤマに均等に振り分ける。

\*同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

### 7-5 順位決定戦

実施しない。

### 7-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある)

## 東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会 [女子個人]

### 8-1 大会の位置づけ

- (1) 各階級上位4名を次年度総体女子体重別選手権・次年度新人大会のシード選手とする。
- (2) 各階級上位4名を原則として強化選手に推薦する。

### 8-2 参加数

オープン参加

### 8-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	総体優勝	1名
第2	総体準優勝	1名
第3	総体第3位・※3位は2名	1～2名
第4	上記のシード選手以外で、強化委員が特に推薦する者*総体第5位の選手	若干名
第5	上記のシード選手以外で、各ブロック競技委員が特に推薦する者	ブロック1名

\*第1シードから第4シードまでの選手は、合わせて8名程度とする。

\*同一選手が2大会とも入賞の場合、上位成績をシードの対象とする。

\*階級を変更した場合、シードランクを1つ下げる。

\*同一選手が2階級でシード権を有する場合、今回出場する階級でのシードを対象とする。

### 8-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第5シードまでを順番に抽選する。
  - \*シード選手どうしのブロックの配置は考慮しないが、シード選手どうしが同一チームの場合は考慮する。
- (2) 各ブロックの残った選手の抽選。
  - \*この際、各ブロックの参加者(シード選手も含めて)をヤマに均等に振り分ける。
  - \*同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

### 8-5 順位決定戦

実施しない。

### 8-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある)